

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



～平和と希望への祈り～

広島交響楽団 第356回定期演奏会  
The 356th Subscription Concert



ソプラノ:安藤 赴美子  
Sop: Fumiko Ando  
©shingo azumaya

アルト:藤井 美雪  
Alt: Miyuki Fujii

指揮:秋山 和慶  
Cond: Kazuyoshi Akiyama

テノール:高橋 淳  
Ten: Jun Takahashi  
(兼 台詞指揮)

バリトン:トーマス・バウアー\*  
Bar: Thomas Bauer  
©Marco Borggreve

2016 1.24 日

15:00開演(14:00開場)

Sun Jan 24 2016 Start 15:00(Open 14:00)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

## 友よ、平和を

マーラー:さすらう若人の歌\*

Mahler: Lieder eines fahrenden Gesellen (Song of a Wayfarer)

ベートーヴェン:交響曲第9番ニ短調Op.125「合唱」

Beethoven: Symphony No.9 in D minor Op.125 "Choral"


チケット(税込/全席指定):S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器  
ローソンチケット(Lコード:66406)・チケットぴあ(Pコード:251-981)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売  
チケット発売日:一般プレイガイド 2015年11月24日(火) / 広響事務局 2015年11月24日(火)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、  
テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社



広響公式ホームページ ▲



# 友よ、平和を

広島市民交響楽団として創立当初、ベートーヴェンの「第九」を演奏する事がひとつの目標でした。

第10回を記念する定期演奏会でその目標を達成して以来、

広島市民にとって、広響にとって「第九」は特別な演目となりました。

そして、定期演奏会で演奏する「第九」は特別以上の意味を持ちます。

『友よ、平和を!』20年以上の時を経て、ひろしま特別合唱団とともに、秋山×広響がお贈りする最高の「第九」を!



〈指揮〉  
秋山 和慶  
Kazuyoshi Akiyama

1941年生まれ。トロンボーン副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督を歴任。サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年6月、渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督/常任指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストック・ディレクター/プリンシパル・コンダクター、洗足学園音楽大学教授。



〈ソプラノ〉  
安藤 赴美子  
Fumiko Ando

札幌市出身。国立音楽大学院、新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外派遣員、ロームミュージックファンデーション在外研究生としてイタリアに留学。ムゼッタ(東京二期会「ラ・ボエム」)、ヴィオレッタ(東京二期会、びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作オペラ「椿姫」)、蝶々さん(セゾン文化会館大劇場、あいちトリエンナーレ「蝶々夫人」)、デズデーモナ(びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作オペラ「オテロ」)などに出演。コンサートの分野でも活躍し、クルト・マズア、スタンラフ・スクロヴァチェフスキ、リカルド・ムーティらの指揮者と共演している。



〈アルト〉  
藤井 美雪  
Miyuki Fujii

大阪芸術大学演奏学科声楽科卒業。オペラ「カルメン」「カルメル会修道女の対話」「霊媒」などに出演。「蝶々夫人」スズキ役は出演回数も多く、演技力ともに高く評価されている。細川俊夫作曲「ヒロシマ、声なき声」では「ミラノ現代音楽祭」に招聘される。またオペラ「リアの物語」ゴネリル役「班女」実子役では各誌より絶賛された。「班女」は2016年9月ワルシャワ音楽祭にて再演予定。霧島国際音楽祭奨励賞3年連続受賞、F.ラボー声楽コンクール3位、カタラーニ及びラウリ、ヴォルピ声楽コンクールディプロマ受賞、第11回エネルギー音楽賞受賞。アルトソロで参加した神奈川フィル300回記念定期マラー交響曲2番「復活」はフォンテックよりCDリリースされている。エリザベト音楽大学声楽科講師。広島県在住。



〈テノール〉  
高橋 淳  
Jun Takahashi  
(兼 合唱指揮)

東京音楽大学卒業、同大学院修了。オペラでは二期会、新国立劇場を中心に多数の国内公演に出演。またブッチーニ・フェスティバル(イタリア)他海外の公演にも出演し、舞台上に欠かせないテノールとして公演の成功に大きく貢献している。コンサートでは、国内外の著名指揮者の下、国内主要オーケストラとの演奏会に多数出演。ベートーヴェン「第九」をはじめバロックから現代に至るまで、確かな歌唱力で幅広いレパートリーを歌っている。特にオルフ「カルミナ・ブラーナ」では、個性的な歌唱が評価を得ており、我が国における第一人者の地位を確立。合唱指導でも全国各地で大きな成果を上げている。東京音楽大学講師。二期会会員。



〈バリトン〉  
トーマス・パウアー  
Thomas Bauer

レーゲンスブルグ大聖堂聖歌隊で音楽教育を受け、ミュンヘン音楽演劇大学を卒業。ザルツブルグ音楽祭をはじめとする世界各地の主要音楽祭、演劇アンサンブル「ラ・フラ・デル・バウス」による、オルフ作曲「カルミナ・ブラーナ」、シュタイアルテ音楽祭では、ヨーロッパ室内オーケストラとオッフェンバック作曲「青髭」、フランス・ディジョン劇場では、ワーグナー作曲「ニーベルングの指環」、モーツァルト「フィガロの結婚」に出演。CDも数多くリリースし、シューベルト「冬の旅」(オルフェドル金貨、ラムジカ・コレア賞)、ヘンデル「アゴロとダフネ」(スタンリー・サディ&グラモフォン賞)、メンデルスゾーン「エリアス」(エヒーョ誌賞)など受賞も多い。ドキュメンタリー「冬の旅 シベリアのシューベルト」は、パウアーのシベリア鉄道を使ったリサイタル旅行の冒険を撮ったドキュメンタリーフィルムで、何度もテレビ放映されている。

次回定期演奏会 2016 2.19 金 第357回定期演奏会 広島文化学園HBGホール 18:45開演(17:45開場)

## 私たちは忘れない

ベートーヴェン「献堂式」序曲ハ長調Op.124

梶場富美子 撰氏4000度からの未来

ショスタコーヴィチ 交響曲第10番ホ短調Op.93

被爆70年を迎え、2015年3月のディスカバリー・シリーズでの世界初演を目的に梶場富美子氏へ新作委嘱した事をきっかけとして、広島市との共同プロジェクト「撰氏4000度からの未来」が立ち上がり、定期演奏会での再演が決まりました。今回指揮をとるのは広響第三代音楽監督の高関健。ショスタコーヴィチの交響曲中、師カラヤンが唯一レパートリーとしていた「第10番」とともに表現します。被爆から70年、戦争を知らない世代への継承が叫ばれる今、決して忘れてはならないものがそこにあります。



〈指揮〉高関 健

あなただけの  
マイシート

後期定期会員募集中!

全3公演

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円  
お申し込みは広響事務局までお電話ください。(9月16日から2016年1月22日まで受付)